

「ベストパフォーマンスを発揮している酪農経営」

1 優良事例を考えられる農家・組織等の名称

グループ名 「Desse Zeny—牛を健康に飼う研究会」

会長の大松さん曰く、「逆さまから読めば、「ゼニデッセ」で、牛を健康に飼えば、ゼニ(お金)がついてくる、という思いを込めて名前を付けました」。構成員は夫婦での参加が条件となっています。

2 現在の具体的活動

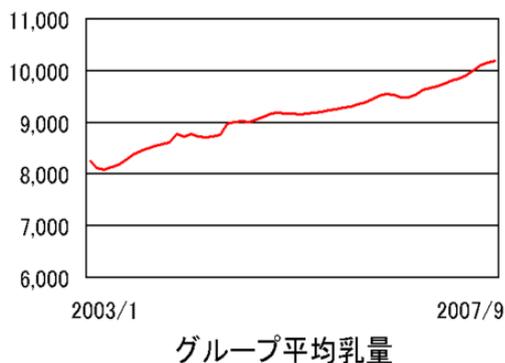
2002年に開始してから、毎月一回、約13年間欠かさずグループのリーダーである大松弘実さんの自宅で勉強会を実施し、回数は160回を超えました。

具体的には、渡邊が事前に各農家を訪問し、牛の様子などを事前に見て回り、この時に気になったことがあれば、それをテーマに勉強会で話をし、牛の栄養生理や搾乳衛生、飼料の給与方法、繁殖と栄養の関係、カウコンフォートの方法などの説明、牛群検定の成績に基づく改善方法の提案が主な内容となっています。

しかし、ただ教わるだけの勉強会ではなく、その時に意見交換も含め酪農家同士、考えを發表し合い、その際の議論、提案、忠告事が成績の向上の原因の一つにもなっている様に思われます。大事なことは、議論した内容をメンバーが自分の牛舎でそれを実践していることです。ご主人がそれを実行していないと、奥様が実行するようご主人の背中を押す。「みんなが努力しており、ついていけるようにしないとやっていけない。今日議論したことをやらないと次の勉強会に出られん。」と危機感が芽生え、切磋琢磨が良い緊張感を生んでいるようです。

途中からこの活動に参加したメンバーは、このグループの実績が上がってきたのを目撃し、何か秘訣が有るのではないかと思い参加したとのこと。9,000kgの乳量で長年足踏みをしていたが勉強会での内容を実践するとみるみる成績が上がりすぐに乳量1万キロになって、ご自身もびっくりされていました。当初は、「成績で他のメンバーと差がついていたが、頑張っ、改善に取り組んでいった。その結果、みんなのレベルが上がった」と自信を持って発言されていました。

3 これまでの成果



粗収益

2003年	8,000kg×50頭×90円×20%
	= 7,200,000円
2004年	8,600kg×50頭×90円×26%
	= 10,062,000円
2007年	10,000kg×50頭×90円×31%
	= 13,950,000円

供用年数

	平均産次	除籍産次
2008年6月	3.4産	4.6産
2015年6月	4.3産	5.2産

4 発足のきっかけ

当時、各酪農家とも分娩時の事故や夏場に廃牛が多く出ていたので、大松弘実さんが仲の良かった酪農家や、親戚の酪農家にいっしょに頑張ろうと声をかけ、始まりました。

5 その他(活動が成功した要因)

長い間続けてこられたのは、「リーダーが良い、一緒に居たら楽しい」との意見もある様に、人の悩みも聞いたり、励ましたり励まされたりと大松弘実さんのリーダーとしての働きや、グループ構成員の団結力の強さがあったからと思われます。なによりもその結果、みなさん方が検定成績で、乳量が1万キロ以上の成績となり、産後の事故も減り、経営成績を年々向上されています。これが秘訣ではないでしょうか。

「勉強会をするまでは、いろいろな問題があっても、どうして良いか分からず、獣医の先生にお世話になったり、指導機関の人に聞くばかりでしたが、勉強会のお陰で、今では自分達で考え、対処することがだんだんと出来るようになってきました。今後とも、勉強会を続け、牛のこと、特に牛が健康であるにはどうしたら良いかをみんなで話し合いながら酪農経営を行っていきたいと思っています。」と話す、リーダーの大松弘実さんです。